

# 令和7年度全国学力・学習状況調査結果について

鹿児島市立南方小学校

## 〈国語〉

話すこと・聞くこと、読むことの落ち込みが大きく、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することや目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けることなどに課題が見られた。

話すこと・聞くことでは、情報と情報との関係付けの仕方や、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解させ使うことができるよう指導していきたい。

また、読むことでは事実と感想などとの関係や要旨を意識した活動を取り入れながら取り組ませていきたい。

## 〈算数〉

計算はできても、計算の仕方を説明することができていない。また、目的に応じて適切なグラフを選択して判断し、その理由を言葉や数を用いて説明することに課題が見られた。

問題解決の場面で様々な考え方に触れていないことが伺える。1つの解答パターンだけでなく、多様な考えに触れさせることが大切である。そのような授業を展開できるように、学校全体で課題を共有し、授業改善を図るようにする。

## 〈理科〉

エネルギー・生命の領域が大きく落ち込んでいる。これまでに学習してきたことが生活に結びついていなかったり、その時の学習で終わっていたりすることが考えられる。

授業を行う中で、差異点や共通点を基に、新たな問題を見出し、表現することができるように指導をしていきたい。また、その学年の学習だけでなく、関連付けながら授業を行うように工夫していきたい。

## 〈全体的に〉

児童質問紙の結果から、意欲があり楽しく取り組んではいるが、自分の力を把握できていないことが分かった。また、タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用して学習しているが、効果的な活用ができていない。学校全体としてどのように活用していけばよいか指導法を模索し、改善に活かすようにしていきたい。